

社会福祉法人共生会

2022年度 年次報告書



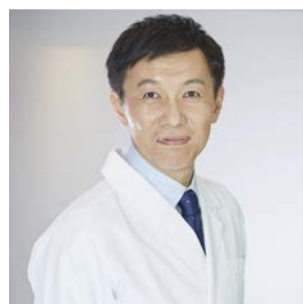
古希

令和4年度（2022年）で、共生会の源流とも言える児童養護施設「希望の家」が70歳を迎えました。これまで、支えてくださった多くの皆様に感謝申し上げます。

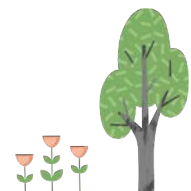
70周年を記念して記念誌を刊行いたしました。記念誌作成にあたっては、法人内の他施設を含めた多くの若手職員に参画してもらいました。近隣の図書館や国会図書館へ出向いて様々な資料をあたり、あるいは古くからの支援者、関係者の方々の話を直接伺うなどの体験を通して、共生会の源流を遡る旅をしました。「理不尽なれど我行かん」、「何かをしなければと、損得勘定無しについ身体が動いてしまう」などの、先人の思いを改めて学ぶ貴重な機会となりました。さらに、普段あまり関わることのない他施設の職員同士が、共同して一つのプロダクトを仕上げるという作業は、沢山の気付き、学びに満ちた道程であったと思います。私自身も、若手職員の底力を驚きと喜びをもって受け取る体験でした。

この経験を通して、共生会の基本理念である「困っている人と共に生きる」の理解を一段深く掘り下げることが出来たのではないかと振り返っています。

今後も、先達の思いを携え、社会課題の解決に向け、皆様と共に一步一步歩んでまいります。



社会福祉法人共生会
理事長 福島 俊彦



児童養護施設

希望の家

松風荘

伊豆長岡学園

江戸川つむぎの家

母子生活支援施設

ふたばホーム

江戸川区そよ風松島荘

中野区さつき寮

認可保育所
(夜間保育)

白鳥ふたば保育園

特別養護老人ホーム

東四つ木ほほえみの里

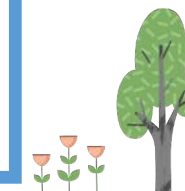
地域包括支援
センター

地域包括支援センター
東四つ木・立石分室

学童保育クラブ

《千代田区・アフタースクール》
さくら／さくら第二
こうじ町

《葛飾区・学童クラブ》
松上／第二松上
上小松／第二上小松
木根川



■児童養護施設「希望の家」

70周年を迎えることができました

希望の家は児童養護施設として認可を受け、2022年に70周年を迎えました。そこには、創設者をはじめとした先人の取組みは勿論のこと、多くの皆様のお力添えがあったからこそと、感謝の念に堪えません。

■児童養護施設「松風荘」

少しずつ日常を取り戻した1年

中止されていた地域行事の再開。制限付きではありましたが、地域とのふれあいの場であるバザーの開催。全体が集まった送別会の開催が実施出来ました。

■児童養護施設「伊豆長岡学園」

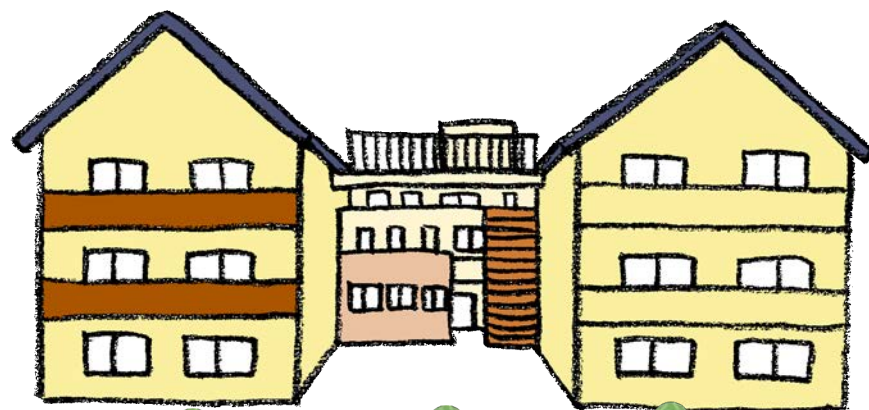
新規グループホーム「ひまわりホーム」開設

地域にグループホーム「ひまわりホーム」を開設することができました。綺麗な建物での生活に子どもたちは大変喜んでいました。

■児童養護施設「江戸川つむぎの家」

感謝

定員24名の子どもたちが怪我なく、無事元気に落ち着いた生活を送ることが出来ました。地域、関係機関、支援者の方々に厚く御礼申し上げます。



■母子生活支援施設「ふたばホーム」

人とのつながりを大切に、笑顔あふれる一年

新型コロナウイルスが流行し、大勢が集まったの催しが難しい中、母の日・ハロウィン・クリスマスのささやかなイベントを開催しました。お母さんや子どもたちのたくさんの笑顔がみられ、人とのつながりの大切さを実感した一年でした。

■母子生活支援施設「江戸川区そよ風松島荘」

一步踏み出した年

コロナ禍で中止せざるを得なかった全体行事の再開を決めました。また、ご支援頂き、長年の夢であった七五三のお祝いを実現することができました。子ども達の晴れ着姿に、利用者の皆さんも職員も明るく前向きな気持ちになりました。

■母子生活支援施設「中野区さつき寮」

変化

行事に参加した退所家庭の成長（変化）や職員と過ごす姿に心温まりました。変化の大きい社会の中で、人とのつながりや得られるサポートが、心の健康や次へ進む支えとなります。また、中野区に児童相談所が開設し、以前よりも密に関われるようになりました。

■認可保育園（夜間保育所）「白鳥ふたば保育園」

笑顔の輪が広がった

感染症対策を行いながらお迎えの時間を活用した縁日や、3年ぶりに再開した親子レクリエーション（運動会）など保護者の方達と一緒に楽しみました。3月には年長児が親子でうどん作りを行い、美味しいうどんに身も心も満たされた様子の子も達でした。

■特別養護老人ホーム「東四つ木ほほえみの里」

■地域包括支援センター 東四つ木・立石分室

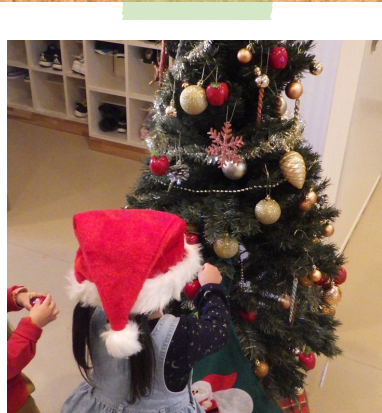
策定義務化を1年前倒しで業務継続計画（BCP）策定

新型コロナウイルス対策の実践を踏まえて、感染症対策BCPを策定しました。また、大規模災害発生時の電源確保を、都補助金活用による蓄電装置の設置により解決して、自然災害対策BCPの策定に生かしました。両BCPとも義務化1年前倒しでの策定です。

■学童保育クラブ 千代田区・葛飾区

子どもたちの笑顔に包まれて

コロナの波はありましたが、少しずつ日常が戻ってきました。それでも行動制限が続く中、子どもたちも工夫しながら遊び、行事にも参加してくれました。子どもたちの笑顔と元気で明るい声に包まれた1年でした。



クリスマスツリー
(江戸川つむぎの家)



冬行事・虹の里イルミネーション
(伊豆長岡学園)



いちごジャムを生かしたパンの
おかわりサービス
(東四つ木ほほえみの里)



母の日の贈り物
(ふたばホーム)



チームビルディング時の一枚
(希望の家)



ハロウィン飾り付け
(江戸川区そよ風松島荘)



節分の特別メニュー
(白鳥ふたば保育園)



正月工作・コルク絵馬
(学童保育クラブ)



乳幼児工作「手形カーネーション」
(中野区さつき寮)



高齢児合宿対面式開催
(松風荘)

児童養護施設とは

児童福祉法に基づいて、乳児を除く保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童をお預かりして養護し、あわせて退所した子どもたちに対する相談、その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設です。



希望の家

東京都・葛飾区 定員：43名
 <ユニット2棟・グループホーム5か所>

たくさんの方々に支えられながら成り立っている希望の家です。子どもを第一に考え、安心と安全が守られた、家庭的なあたたかい環境を提供できるように職員一同 努めています。加えて、ショートステイ事業や家庭訪問型子育て支援事業をはじめとした、地域の子育て支援の取り組みも行っております。

■TOPICS

卒園生を送る会を数年ぶりに対面で実施し、6名の子どもたちの卒園を祝いました。とても感動的な会となりました。

皆で意見を出し合い、組織理念の改訂とロゴマークの作成を行いました。組織の一体感を高めることにも繋がりました。

親子ふれあいサロンきぼうをスタートし、地域の親子さんに音楽・ヨガ・リフレクソロジーを楽しんでいただきました。



松風荘

静岡県沼津市 定員：30名
 <本園・グループホーム3か所>

市街地を離れると海と山に囲まれた、のんびりとした環境で生活を送っています。本園12名、分園3か所18名が暖かな地域の方に支えられながら、日々過ごしています。第1分園が第2分園隣に新築移転した事により、本園と第3分園、第1分園と第2分園の、隣接する拠点2か所で相互協力しながら生活しています。

■TOPICS

地域の花火大会開催。支援者からの招待があり、栈敷席で楽しみました。

地域ふれあいバザーを開催。地域の高齢者の方を中心にとっても喜んでいました。

送別会屋の部。子ども・職員全員で汗を流しました。



伊豆長岡学園

静岡県伊豆の国市 定員：48名
 <本園5ユニット・グループホーム2か所>

「大切にされていると実感できる場所」を理念の柱とし、「ここに来てよかった」「あなたに出会えてよかった」と子どもたちが実感できるような施設づくりを目指しています。都立施設から民間移譲となり16年の月日が経過し、地域の皆様やご支援者様に支えられた施設になってきました。

■TOPICS

未来種まき委員会様による職業体験を実施していただき、中高生に対する自立支援が益々充実してきました。

寄付者のご厚意で子どもたちの念願だったバスケットゴールを設置することができました。

退園生が甲子園に出場し応援に行きました。学園ではパブリックビューイングで応援し高校野球一色の夏になりました。



江戸川つむぎの家

東京都・江戸川区 定員：24名
 <本園>

2歳から高校生まで幅広い年齢の子どもたちが幼稚園、小学校、中学校、高校に通いながら穏やかに日々楽しく生活できるように職員一同チーム支援を行っています。また、ショートステイ・トワイライト事業等を通して地域支援にも力を入れています。

■TOPICS

コロナ禍の中、江戸川つむぎ祭りを行い、子どもたち皆楽しい一日を過ごしました。

支援者から頂いた本は何百冊にもなり、子どもたちがいつも喜んで借りて読んでいます。

チーム支援を行う上で職員一人ひとりのスキルアップにも力を入れています。





母子生活支援施設とは

児童福祉法に基づいて、18歳未満のお子さんのいる母子家庭等が生活できる施設です。母子の自立に向けて、子育てや生活のお手伝いをはじめ、退所した後もご相談に応じています。

ふたばホーム
ふたば学童・第二ふたば学童保育クラブ
 東京都・葛飾区
 ふたばホーム：定員20世帯
 ふたば学童・第二ふたば学童保育クラブ：定員80名

お母さんと子どもたちがいつも笑顔で、安全で安心した生活ができることを大切にしているふたばホーム。ふたば学童保育クラブ、第二ふたば学童保育クラブを併設しており、地域の子育て支援を担えるように努めています。

■TOPICS

ご招待いただいた野球観戦！プロ野球選手にお声をかけていただき大興奮。たくさんのお夢をいただきました。

個別の行事では、子どもたち各々の「やってみたいこと」にチャレンジしました。

みんなで楽しく工作をしたハロウィン作品展。たくさんのご家族が観覧してくださいました。（学童保育クラブ）



江戸川区そよ風松島荘
 東京都・江戸川区 定員：20世帯

利用者に寄り添い「大切にされている」と思えるような関わりを大切にしています。築53年が経ち共同部分が多い等の不便さがありますが、利用者の皆さんからアイデアを頂きながら、少しでも快適に生活ができるように工夫しています。

■TOPICS

素敵な七五三の晴れ着姿に、お母さんも職員も感動でいっぱいでした。

2年ぶりにバスハイクを再開しました。親子の充実した笑顔に、改めて横のつながりや行事の大切さを実感しました。

本年度も多くのご支援を頂きました。江戸川区の特産品である「小松菜」は子ども達にも大人気でした。



中野区さつき寮
 東京都・中野区 定員：19世帯

0歳から高校生と幅広い年齢のお子さんとお母さんに寄り添い、個々のニーズに合わせたサポートを行っています。また、ショートステイやトワイライトステイ、電話相談等、地域の子育て世帯への支援に加え、地域のひとり親家庭を対象とした「クラシックライブ」「ミニ四駆作り」等の行事を開催しています。

■TOPICS

在所家庭と時間を分ける事で密を避け、久しぶりに退所家庭を「夏まつり」に招待できました。射的が母子に大人気でした。

ひとり親支援事業にてミニ四駆作りを実施。完成後、うれし涙を流す子もいました。参加者同士仲良く過ごしました。

小学生以上限定のワンコインモーニングでしたが、初めて全家庭対象で実施。朝ごはんを食べて元気に登校・出勤しました。





子どもからお年寄りまで、地域の皆様と共に生きる地域密着の運営を日々行っています。すべての利用者の方のケアニーズに応えられるよう、専門性と質の高いサービスを提供出来るように心がけております。



特別養護老人ホーム 「東四つ木ほほえみの里」
地域包括支援センター東四つ木・立石分室

特別養護老人ホーム：123ベッド
ショートステイ：7ベッド

特別養護老人ホームとは、常時介護を必要とし、在宅での生活が困難な高齢者に対して、生活全般の介護を提供する施設です。平成10年開所以来、利用者が安心して生活できるように、ふれあいを大切にしています。

地域包括支援センター東四つ木・立石分室は平成18年より葛飾区から事業を委託されています。通称名「高齢者総合相談センター」として、より区民にわかりやすく身近な相談窓口として活動しています。

■TOPICS

コロナ禍で外出や行事の制限がある中、恒例のいちごジャムづくりを行いました。甘い香りに笑顔がはじけました。

介護人材不足の中、新卒者1名が入職しました。先輩の応援を得て、敬老会で「お祭りマンボ」を披露しました。

地域包括の事業では、地域の高齢者の集いの場を再開することができました。皆さんで楽しく体を動かしました。



認可保育園（夜間保育所）「白鳥ふたば保育園」

東京都・葛飾区 定員：36名

0歳児から5歳児まで36名規模の小さな保育園です。夜間保育も行っていますので、夕食を食べて安心して過ごせます。

たくましく、しなやかに成長していけるよう、1クラス6名の少人数で保育を行っています。

■TOPICS

トマト、茄子、ゴーヤなど夏野菜を育てました。毎日たっぷり水をもらい、トマトは子ども達の身長よりも大きく育ちました。

3年ぶりに再会した親子レクリエーション。広い体育館で思いっきり体を動かしました。

クリスマス会ではハンドベルグループの方々の演奏を聴きました。素敵なハンドベルの音色に真剣な表情を見せたり、一緒にロウさむ姿が見られました。



学童保育クラブ

(葛飾) 松上学童保育クラブ70名 第二松上学童保育クラブ70名
上小松学童保育クラブ55名 第二上小松学童保育クラブ45名
木根川学童保育クラブ60名

(千代田) アフタースクールさくら65名 アフタースクールさくら第二46名
アフタースクールこうじ町52名

葛飾区に5学童、千代田区は3学童と放課後子どもプラン（放課後子ども教室）の事業を受託・運営しています。放課後の子どもたちの居場所として安全・安心に過ごすことのできる環境を提供しています。小学校の校庭などを使い、自由に遊ぶことができ、多彩な行事も企画しています。

■TOPICS

夏休みは毎年、Tシャツ作りをしています。どんなTシャツになるかわくわく。みんな上手につくることができました。

ラミネートフィルムで傘作りをしました。それぞれ自分の似顔絵をかき、世界に一つだけの傘を作ることができました。

クリスマスは顔出しパネルでハイポーズ！子どもたちだけでなく、保護者の方も写真撮影を楽しめました。



2022年度決算書類

法人単位資金収支計算書（抜粋版）
（自）令和4年4月1日（至）令和5年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	事業活動収入計(1)	2,860,076,859	2,862,318,412	△2,241,553
	支出			
	事業活動支出計(2)	2,646,086,900	2,613,638,878	32,448,022
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	213,989,959	248,679,534	△34,689,575
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	20,216,400	21,049,400	△833,000
	支出			
	施設整備等支出計(5)	59,520,628	56,745,400	2,775,228
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△39,304,228	△35,696,000	△3,608,228
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)	31,785,422	27,116,379	4,669,043
	支出			
	その他の活動支出計(8)	115,431,536	135,001,612	△19,570,076
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△83,646,114	△107,885,233	24,239,119
	予備費支出(10)	799,751	—	
		0		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	90,239,866	105,098,301	△14,858,435
	前期末支払資金残高(12)	820,489,443	820,489,443	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	910,729,309	925,587,744	△14,858,435

法人単位事業活動計算書（抜粋版）
（自）令和4年4月1日（至）令和5年3月31日

(単位：円)

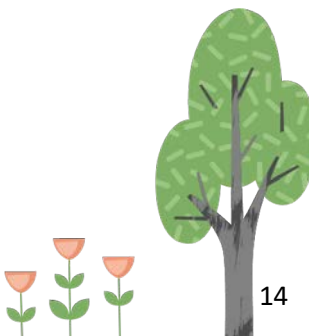
勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	サービス活動収益計(1)	2,841,452,037	2,656,754,356	184,697,681
	費用			
	サービス活動費用計(2)	2,672,920,245	2,565,140,530	107,779,715
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	168,531,792	91,613,826	76,917,966
サービス活動外増減の部	収益			
	サービス活動外収益計(4)	20,866,376	14,769,274	6,097,102
	費用			
	サービス活動外費用計(5)	13,251,422	13,674,392	△422,970
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	7,614,954	1,094,882	6,520,072
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	176,146,746	92,708,708	83,438,038
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)	21,680,400	87,719,379	△66,038,979
	費用			
	特別費用計(9)	28,145,966	457,774,270	△429,628,304
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△6,465,566	△370,054,891	363,589,325
	税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	169,681,180	△277,346,183	447,027,363
	法人税、住民税及び事業税(12)	0	0	0
	法人税等調整額(13)	0	0	0
	当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	169,681,180	△277,346,183	447,027,363
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	1,685,926,000	1,904,860,151	△218,934,151
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	1,855,607,180	1,627,513,968	228,093,212
	基本金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)	16,437,540	149,291,580	△132,854,040
	その他の積立金積立額(19)	138,464,491	90,879,548	47,584,943
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	1,733,580,229	1,685,926,000	47,654,229

法人単位貸借対照表（抜粋版）
令和5年3月31日現在

(単位：円)

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,018,066,877	934,908,927	83,157,950
固定資産	3,548,470,761	3,528,117,209	20,353,552
資産の部合計	4,566,537,638	4,463,026,136	103,511,502
負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債	166,272,443	185,660,755	△19,388,312
固定負債	103,845,958	99,711,722	4,134,236
負債の部合計	270,118,401	285,372,477	△15,254,076
純資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
基本金	619,777,986	619,777,986	0
国庫補助金等特別積立金	1,355,563,223	1,406,478,825	△50,915,602
その他の積立金	587,497,799	465,470,848	122,026,951
次期繰越活動増減差額	1,733,580,229	1,685,926,000	47,654,229
（うち当期活動増減差額）	169,681,180	△277,346,183	447,027,363
純資産の部合計	4,296,419,237	4,177,653,659	118,765,578
負債及び純資産の部合計	4,566,537,638	4,463,026,136	103,511,502

本決算書類は「法人単位」のものであり、抜粋版です。
詳細は、各ウェブサイトをご覧ください。



SDGsへの取り組み

近年、国連の提示するSDGsが注目を浴びています。SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2030年までに達成すべき国際社会共通の目標です。私たちが5つのゴールの課題解決の一助となるべく、社会福祉という分野の中で、皆さまとともにさまざまな社会課題を解決していきたいと考えています。

- ゴール1： 貧困をなくそう
- ゴール3： すべての人に健康と福祉を
- ゴール4： 質の高い教育をみんなに
- ゴール16： 平和と公正をすべての人に
- ゴール17： パートナーシップで目標を達成しよう



■■企業の皆さまへ■■

社会的養護を必要とする母子や高齢者、子どもたちへのご支援は寄付だけに限らず、住居として使用している施設内設備のメンテナンスや、本やおもちゃなどの物品提供、子どもたちの体験型活動のご提供など多岐にわたります。皆さまの社会貢献ポリシーに応じて柔軟に対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

ご支援の方法

寄付で応援

共生会では、広くご寄付のお願いをしています。共生会が運営する各施設で暮らす方々、また社会に巣立とうとする子どもたちを応援してください。お振込みやクレジットカード決済、また施設ごとへのご支援も受け付けておりますので、是非ご相談ください。



物品で応援

電化製品や家具・オフィス用品、車輛などの施設設備のほか、食品や子どもたちの遊具、医療消耗品など、さまざまな形のご協力を受け付けています。金銭以外のご支援方法について、是非ご相談ください。※ウェブサイト「欲しいものリスト」を公開しています。



遺贈寄付



大切な資産やその一部について遺贈寄付のご相談を受け付けています。遺贈寄付には公的な書類の作成などがありますので、専門機関をご紹介します。お気軽にご相談ください。

※当法人へのご寄付は、確定申告時に申告することで税の優遇を受けることができます。



⇐ 寄付についてはこちら



社会福祉法人共生会

〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木1-12-17

TEL：03-5671-1280 FAX：03-5671-1285

Mail：info@swc-kyouseikai.org ホームページ：https://www.kyousei-kai.com/

